

水害常襲地から安心して暮らせるまちへ

# 谷住郷地区河川改修事業



国土交通省  
浜田河川国道事務所



島根県  
浜田土木建築事務所



完成パース

# 水害のない安心できる生活を...

## 谷住郷地区の概要

小谷川は流域面積22.3km<sup>2</sup>、流路延長7.5kmの山地河川で島根県のほぼ中央、旧桜江町内（現在江津市）を流れており、谷住郷地先において一級河川・江の川（15k800付近）と合流します。

谷住郷地区はこの合流付近に位置しており、過去幾度となく江の川の背水により被害を受けてきました。

過去最大の被害であったS47.7出水では、浸水面積54ha、浸水戸数208戸の被害が発生し、その後もS58、S60、H7、近年ではH11.6梅雨前線により浸水面積25ha、浸水戸数7戸の被害が発生するなど過去5度の浸水被害を受けており、早急な整備が求められています。

**被災民の窮状を切々と...**

陳情に復旧約束  
建設相、惨状に驚き

**雨・小休止 救援急げ**

「男手が欲しい」

昭和47年  
災害関連  
新聞記事



S47年 災害時の様子

**島根県西部に集中豪雨**

死者41人 不明58人

山崩れ下敷き続出

**音・不明 113人に**

被災地 懸命の復旧作業

昭和58年  
災害関連  
新聞記事



昭和58年7月  
増水した江の川は国道261号を越え、  
谷住郷地区へ大きな被害をもたらした。



昭和60年7月



平成17年3月



平成17年 現在の保育所付近



平成7年7月



平成17年 現在の郵便局付近

## 谷住郷地区河川改修事業概要

谷住郷地区の根幹的治水対策として、県はトンネル放水路により小谷川上流域で計画高水流量(310m<sup>3</sup>/s)を江の川へ流し、国は本川バックの影響を請けないよう樋門方式による締切りを行う計画で、お互いの事業調整を図り、H18年度出水期までに本地区の河川改修事業を完了させる予定である。

計画概要		
項目	谷住郷地区河川改修事業	
	江の川河川改修(国土交通省)	総合流域防災(島根県)
計画流量	9,900 (m <sup>3</sup> /sec)	310 (m <sup>3</sup> /sec)
計画規模	1/100	1/30
主要工程	小谷川付替え 1式	河川トンネル L=973m
	築堤・護岸 L=460m(江の川) *国道嵩上げ(江の川)を含む	築堤・護岸 L=934.5m(小谷川)
	樋門 1式(江の川)	国道嵩上げ(トンネル吐口部) 1式
事業期間	H12~H18.6(予定)	S57~H18.5(予定)

### 氾濫区域内の概要

1. 氾濫区域面積 A=22.0ha
2. 氾濫区域内面積
 

田	A=3.8ha
畑	A=7.0ha
農耕地合計	A=10.8ha
3. 浸水戸数(氾濫区域内戸数) N=208戸
4. 氾濫区域内の主な公共施設等
 

県道	町道	L=3.1km	水道水源地	1箇所
寺院	1箇所	集会所	4箇所	
郵便局	1箇所	保育所	1箇所	

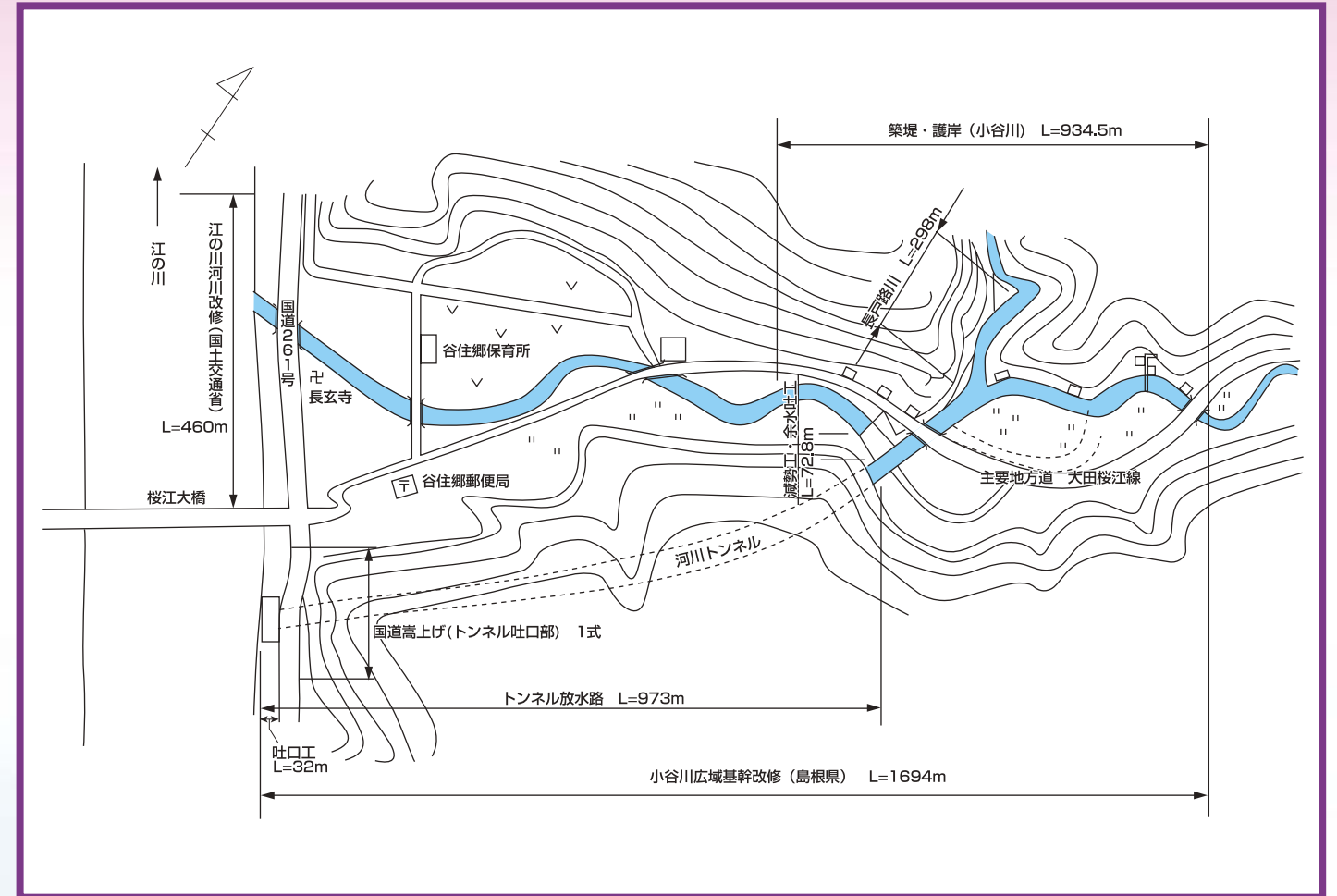
S47年 水害浸水区域



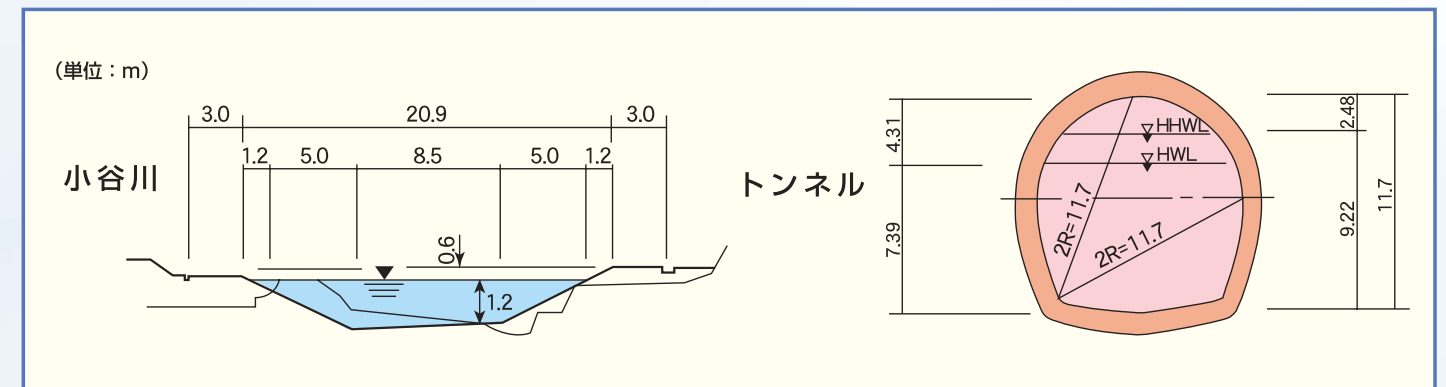
### 小谷川流域図



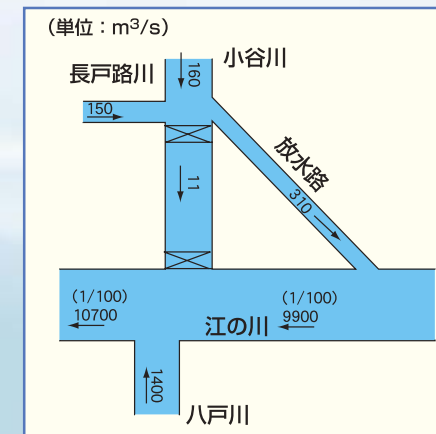
## 計画平面図



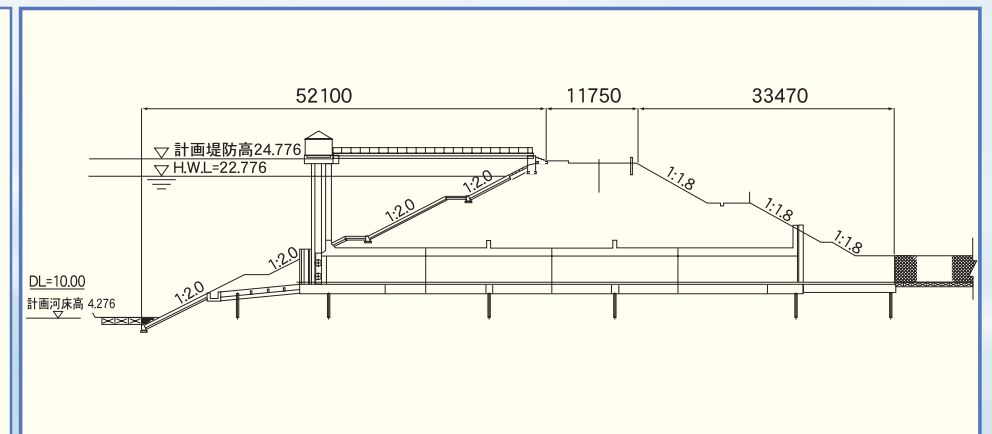
### 標準断面図



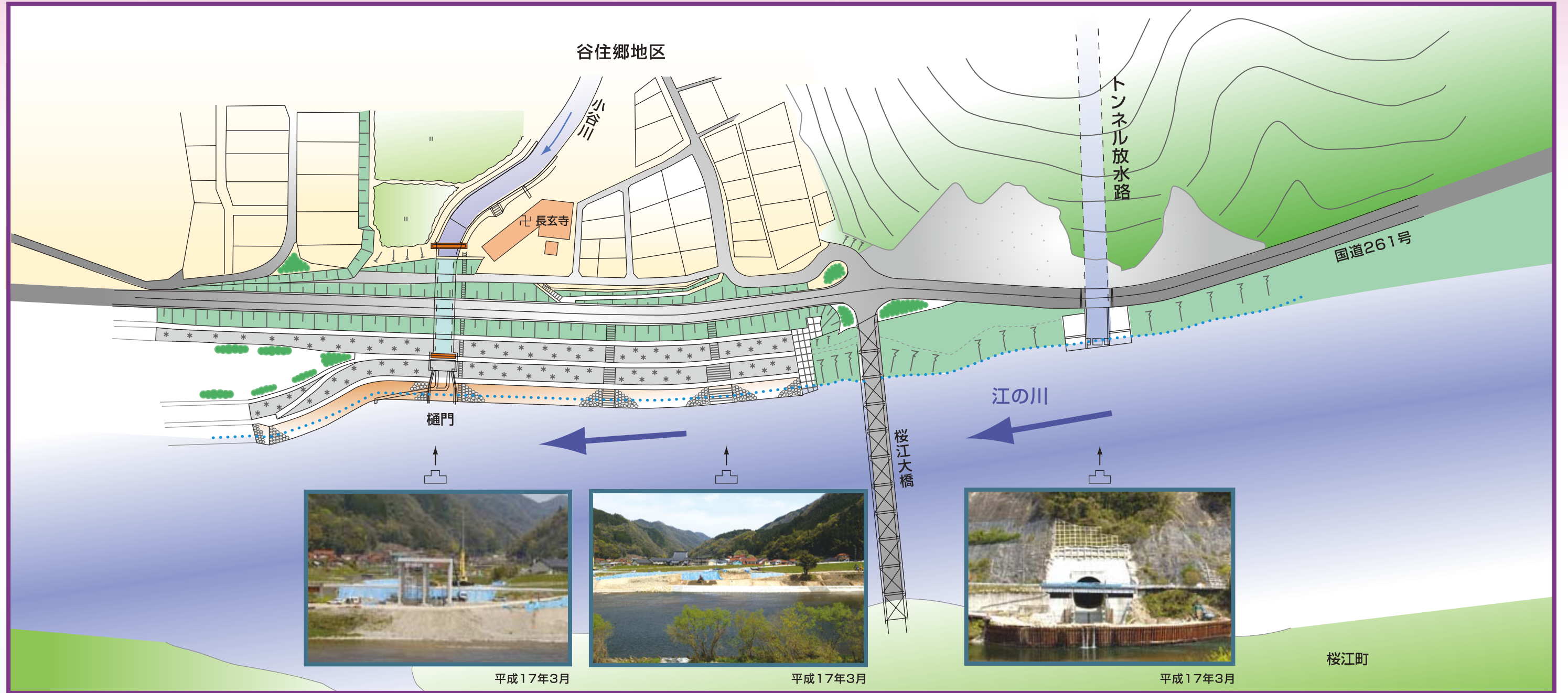
### 流量配分図



### 堤防標準断面図

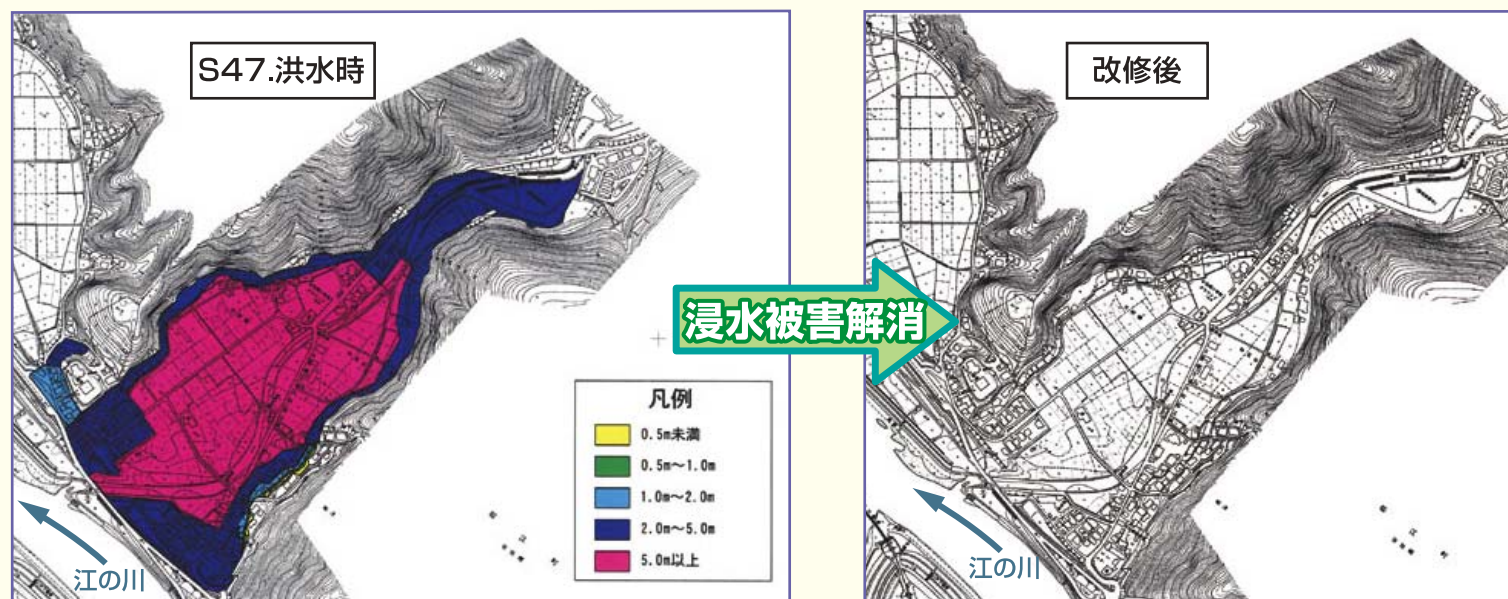


# 平面図

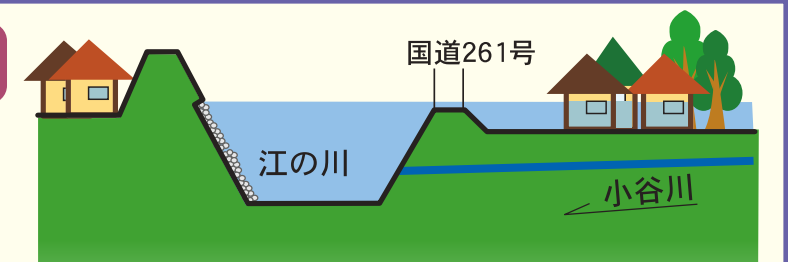


## 事業効果

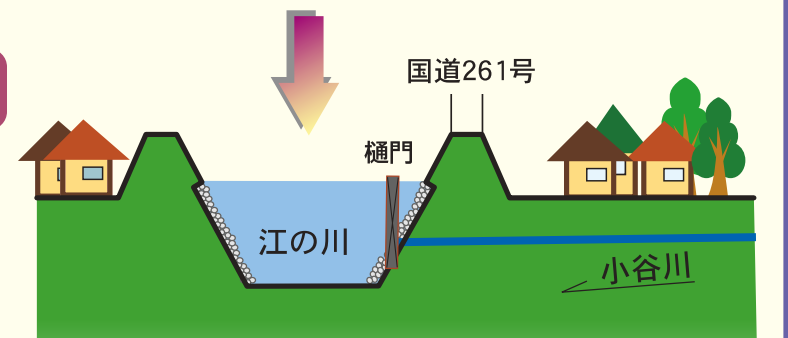
樋門及びトンネル放水路（呑口部流入量が約 $13\text{m}^3/\text{s}$ ）以上で分派開始）の運用により江の川では過去最大の被害を起こしたS47.7洪水を安全に流すことができ、また小谷川については計画高水流量を安全に流すことができます。（外水対策）



## 改修前



## 改修後





国土交通省  
**浜田河川国道事務所**

〒697-0034 島根県浜田市相生町3937  
 TEL(0855)22-2480 FAX(0855)23-5023  
 URL <http://www.hamada-mlit.go.jp>  
 E-mail : e-kippu@cgr.mlit.go.jp



島根県  
**浜田土木建築事務所**

〒697-0041 島根県浜田市片庭町254  
 TEL(0855)22-3131 FAX(0855)23-3304